

平成 25 年度 つくば市民意識調査 概要

1 調査の概要

■調査の目的

本調査は、つくば市の現状やまちづくりの取組に対する評価や満足度、市民が重要と感じている施策、社会情勢から重点的な取組が必要な課題について、市民の意向などを把握することを目的として実施しました。

本調査の結果は、今後の市政運営と施策実施の基礎資料として活用していきます。

■調査期間

平成 25 年 8 月 5 日～平成 25 年 8 月 23 日

■調査対象

住民基本台帳に記載された 20 歳以上の男女 2,400 人を無作為に抽出

■調査方法

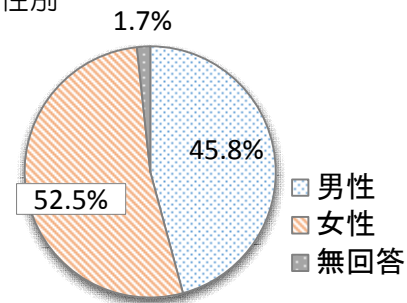
郵送配布・回収

■回収状況

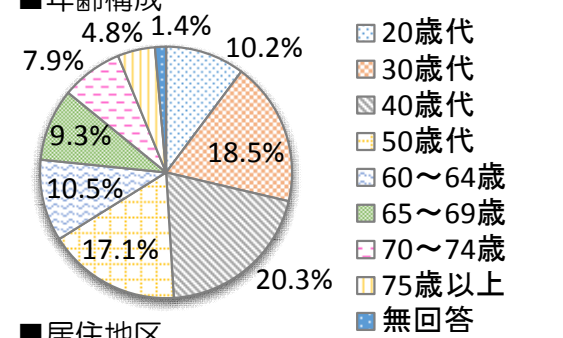
発送数：2,400 通、回収数：1,318 通、回収率：54.9 %
 (※前回調査 (H23) … 発送数：2,400 通、回収数：1,392 通、回収率：58.0%)

2 回答者の属性

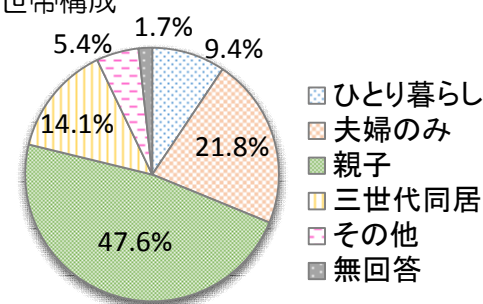
■性別



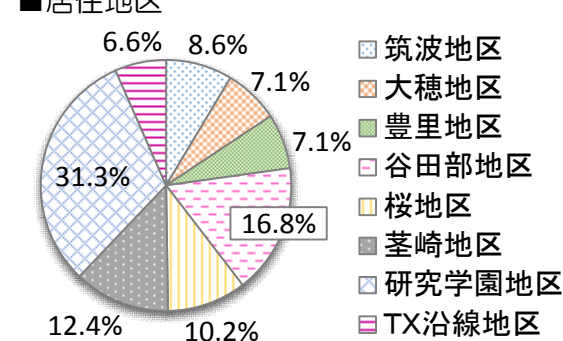
■年齢構成



■世帯構成

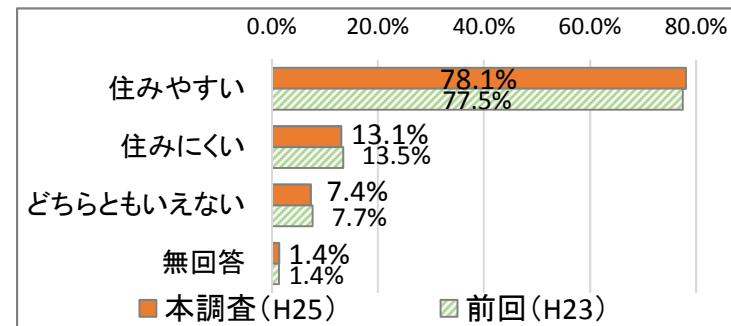
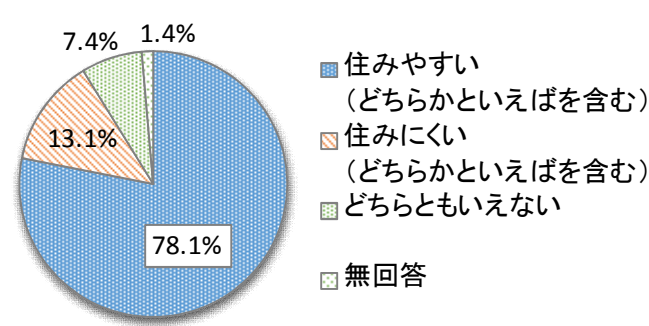


■居住地区

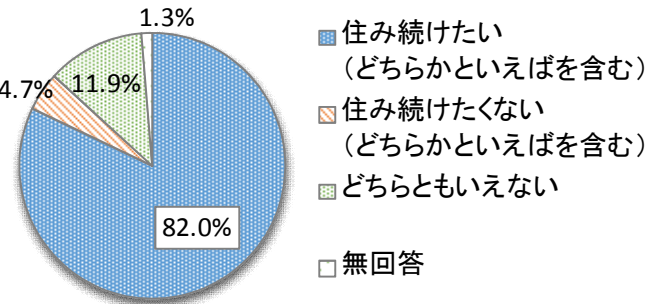


3 住環境について

■住み心地 (問4)



■定住意向 (問3)

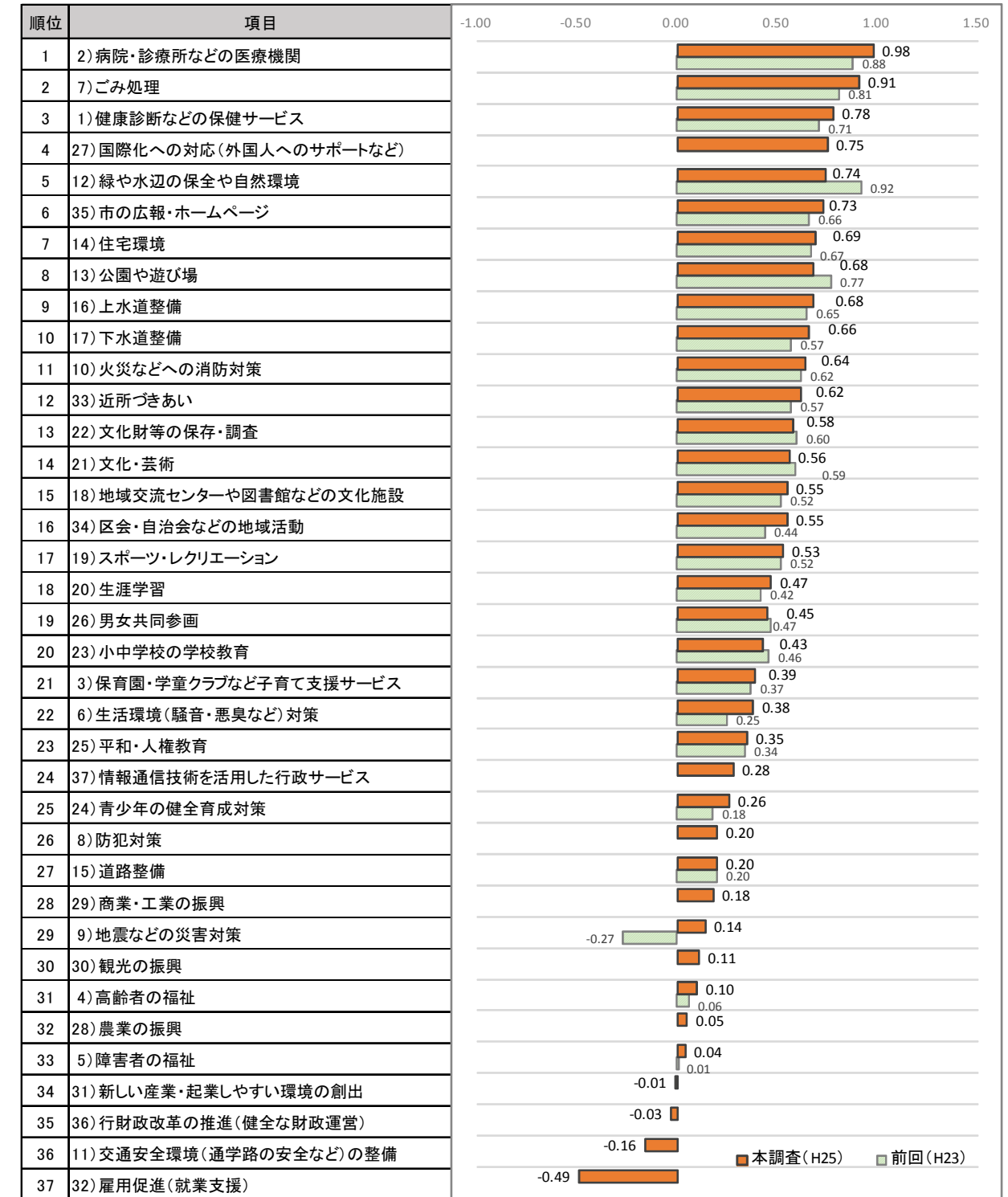


●住みやすい理由として、1位は「豊かな自然」、2位は「日常生活が便利」で自然と都市機能のバランスが評価されていると考えられます。一方、住みにくい理由としては、「交通の便が悪い」や「日常生活が不便」などの都市機能に関するものとなっています。

4 まちづくりの取組に関する満足度について (問16)

満足度の計算方法：加重平均値の算出は、回答数に下の点数を乗じ、得られた合計点数を全回答数(「わからない」、「無回答」を除く)で除して得た値。

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえ不満	不満
2点	1点	-1点	-2点



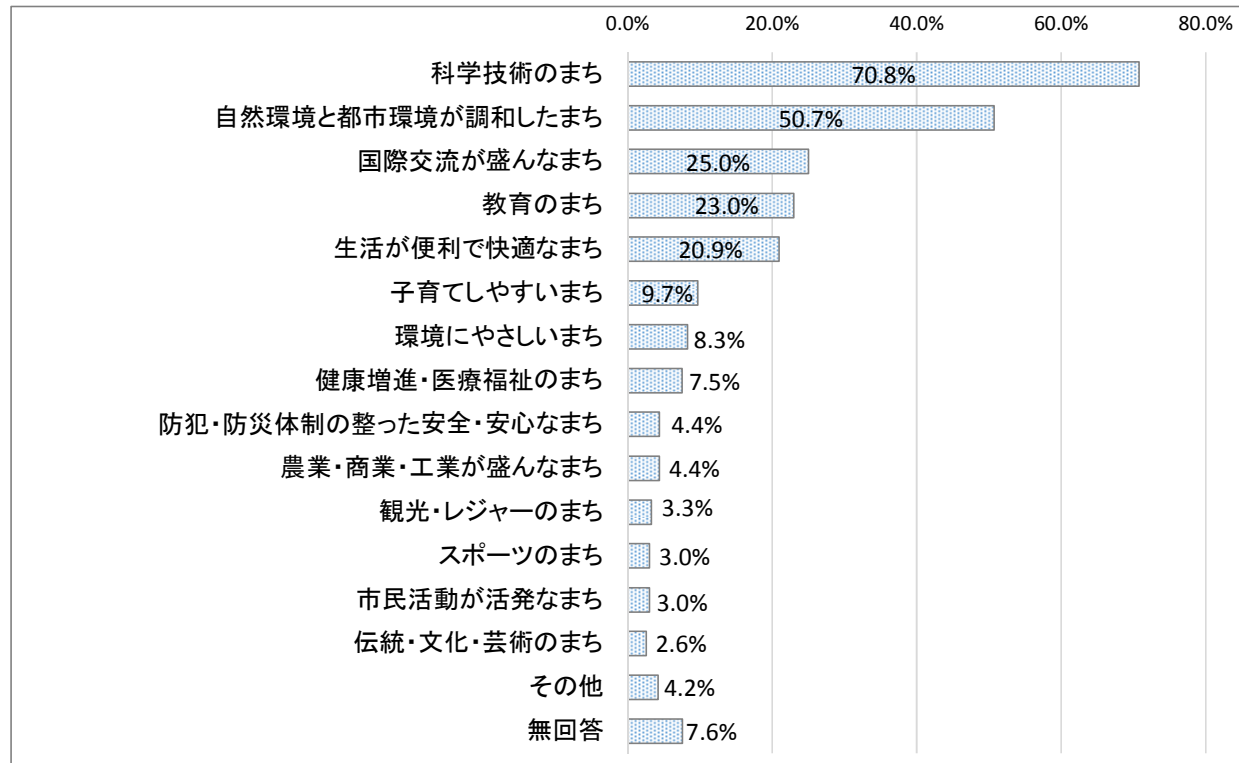
●37項目中33項目が「プラス」の結果となっています。特に「9) 地震などの災害対策」などの20項目は前回調査より満足度が向上しています。

●満足度が高い項目：「2) 病院・診療所などの医療機関」、「7) ごみ処理」、「1) 健康診断などの保健サービス」など

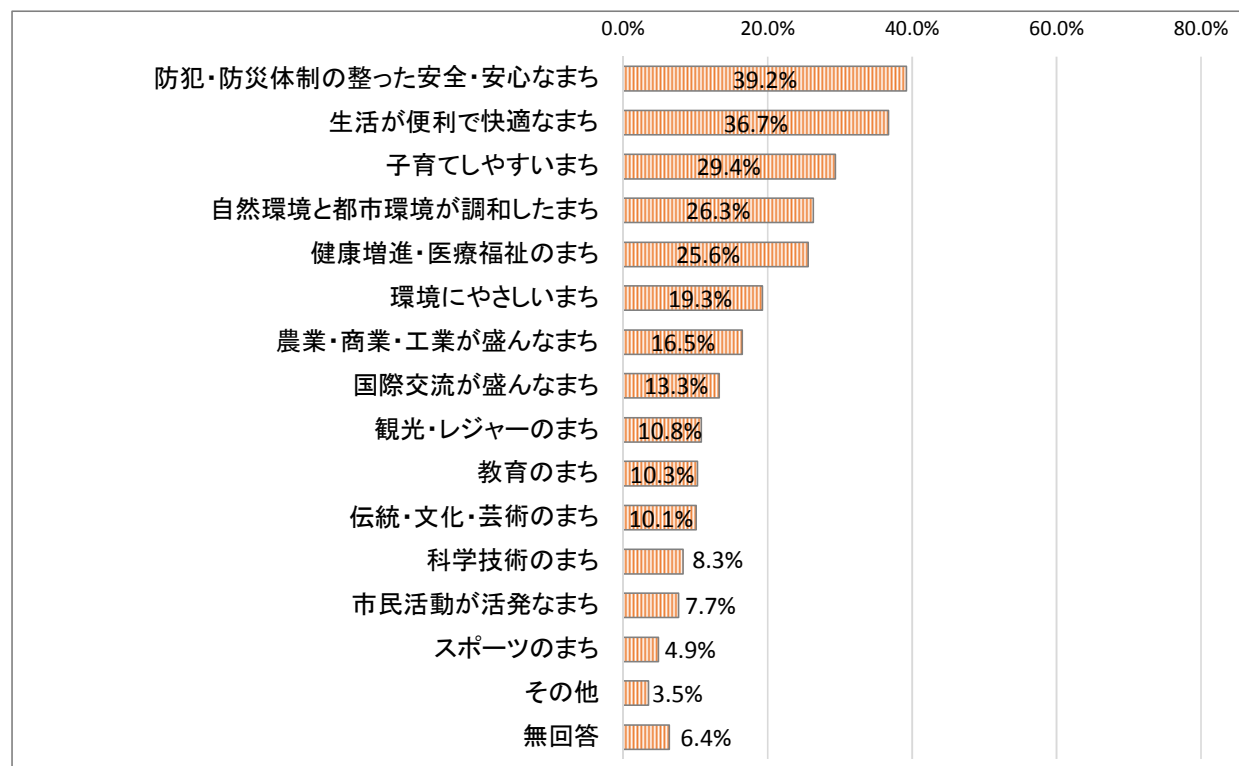
●満足度が低い項目：「32) 雇用促進(就業支援)」、「11) 交通安全環境(通学路の安全など)の整備」、「36) 行財政改革の推進(健全な財政運営)」など

5 現在のまちのイメージと今後目指すまちづくり（問 18）

■「現在のまちのイメージ」



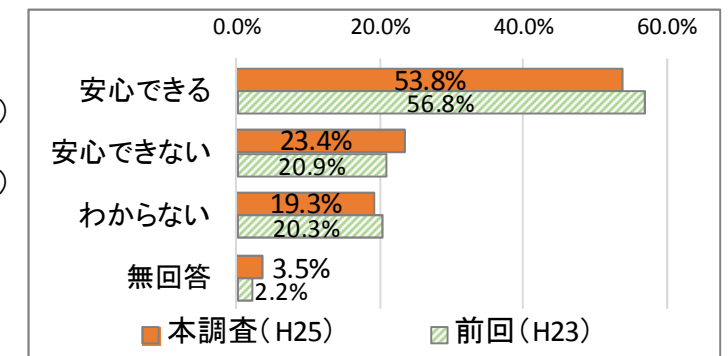
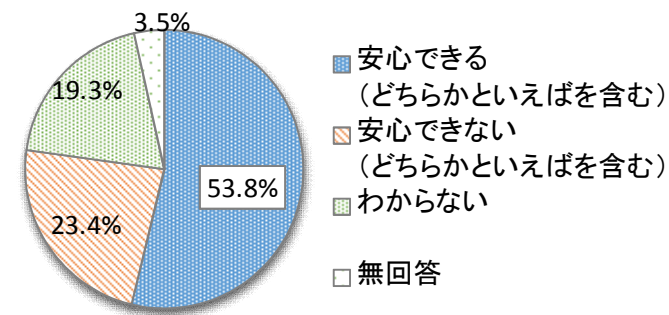
■「今後目指すまちづくり」



- 現在のまちのイメージは、「科学技術のまち」、「自然環境と都市環境が調和したまち」などが多くなっています。
- 今後目指すべきまちづくりは、「防犯・防災体制の整った安全・安心なまち」、「生活が便利で快適なまち」など生活に密着したまちづくりが求められています。

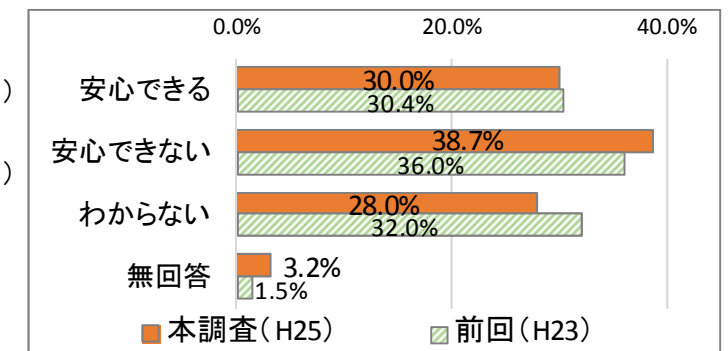
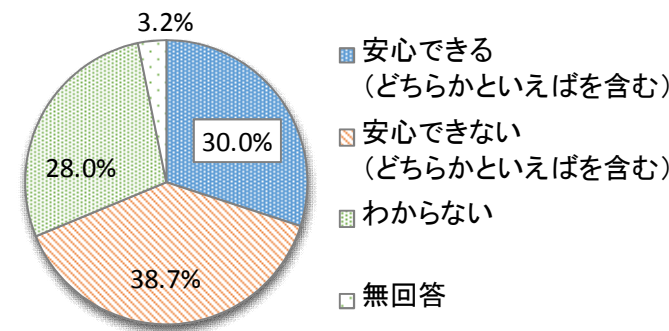
6 市の重要施策について

■子育て環境について（問 19）



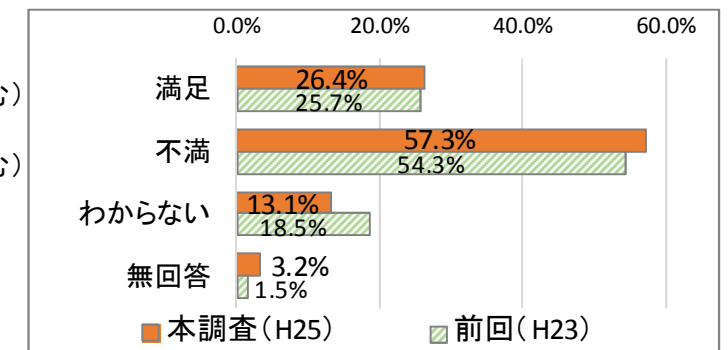
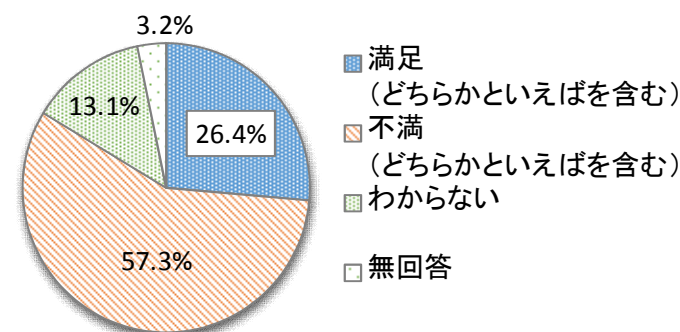
- 「安心できる」と答えた方が3ポイント減少し、「安心できない」と答えた方が約3ポイント増加しています。
- 「安心できない」と答えた方が不足していると思うものは、「子育て世帯への経済的支援」や「産婦人科・小児科医」などとなっています。

■高齢者の生活環境について（問 21）



- 「安心できる」と答えた方は横ばいですが、「安心できない」と答えた方は約3ポイント増加しています。
- 「安心できない」と答えた方が不足していると思うものは、「送迎・買い物など日常生活支援」や「地域で高齢者を支える仕組み」などとなっています。

■つくば市の公共交通について（問 23）



- 「不満」と答えた方の割合が3ポイント増加しています。
- 公共交通に不満である理由としては、「運行本数」や「路線」などとなっています。

※回答割合は小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。